

## 総括質疑並びに一般質問通告一覧

【質問日】令和3年3月4日（木）

### 【個人質問】

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	森 満 晃	<p>1 国のエネルギー政策と「エネルギーのまち」薩摩川内市の今後の取組について</p> <p>(1) 国の脱炭素社会への取組について</p> <p>ア 本市の考え方、対応について説明を求める。</p> <p>イ エネルギー政策における脱炭素化の取組について、これらの取組を意識した政策は補助金や優遇制度などを活用した電気自動車やモビリティ等いろいろあるが、エネルギー政策における脱炭素化の取組について具体的な説明を求める。</p> <p>ウ 本市における原子力発電と再生可能エネルギーを取り込んだ脱炭素化への取組について、現実的な選択肢を考えたときに本市だからこそ可能な原子力と再エネによる脱炭素化の構図ができるのではないかと、見解を求める。</p> <p>(2) 電力自由化に伴う新電力について</p> <p>ア 新電力について本市の考え方と対応の説明を求める。</p> <p>イ 公共施設の電気料金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約体系と契約先について本市内の公共施設における電気の契約先は、この新電力等の参入によりそれぞれ契約先が異なるのではないかと、具体的な契約先を示せ。</li> </ul> <p>(3) 地域エネルギーについて</p> <p>ア 地域電力の設立について</p> <p>(ア) 本市において地域電力の設立や地元企業と参画する考えはないかと、見解を求める。</p> <p>(イ) 県内の他市町村の取組状況を示せ。</p> <p>イ 地域エネルギー会社の創出について</p> <p>(ア) 本市の方向性を踏まえた施策は民間にどのような取組で示しているか。</p> <p>(イ) 起業するための市の参画や助成、補助金等について説明を求める。</p> <p>(ウ) 市民講座「薩摩國シティセールス大学」におけるエネルギービジネスの推進や地域エネルギーの取組について3年間の成果はどうだったのか。また、官民一体となった活動は、今後、どのような形で地域のエネルギービジネスに活かされていくのか。</p> <p>(エ) 九州電力と連携した薩摩川内市モデルはできないか。</p> <p>ウ 次世代エネルギーの地産地消について</p> <p>(ア) 本市が考える「エネルギーのまち」とは、火力・原子力の発電から始まり太陽光や風力、バイオマスと再生可能エネルギーによる「創る・ためる・賢く使う」ことに重点を置いて推進してきたという認識でよいか。</p> <p>(イ) 一般市民は、地元の再生可能エネルギー等を地域内の企業や家庭に安定した電源として安価な形で供給してもらいたいイメージだが、電気料金の契約先の選択肢が増え、市民の利益につながると考えられないか。</p> <p>エ 本市は、従来の「エネルギーのまち」を発展させた、「次世代エネルギーを活用したまちづくり」を官民一体となって取り組んでいく方向性であるが、エネルギー政策に当初から携わって来られた当時の企画部長で現在の永田副市長</p>

		<p>は、本市のエネルギービジョンをどのように分析されているか見解を求める。</p> <p>オ 本市が次世代エネルギー導入を通じたまちづくりに取り組む理由は、10年から20年先の豊かな社会生活の実現のために様々な次世代エネルギー政策に取り組むとある。市長は今後、市内企業や市民のためにどのようなエネルギー政策に取り組むか見解を求める。</p> <p>2 令和3年度組織見直しの商工観光部の再編について</p> <p>3 峰山地区コミュニティ協議会（柳山アグリランド事業）の補助金について</p>
2	徳永武次	<p>1 第3次薩摩川内市農業・農村振興基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の推進体制と計画に携わる主な協議会の取組状況は</li> </ul> <p>2 計画の重要課題である農業担い手不足・耕作放棄地・鳥獣被害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新規就農者確保・後継者育成の現状は</li> <li>(2) 増加する耕作放棄地の現状と対策は</li> <li>(3) 本年度の鳥獣駆除の状況は（駆除件数・駆除に係る委託料）</li> <li>(4) 新年度の鳥獣駆除をどの程度試算しているか。（駆除件数・委託料）</li> <li>(5) 猟友会の高齢化により新たな被害防止策を検討するべきと思うかどうか。</li> </ul> <p>3 重点8品目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生産者が減少する中、今後の生産者確保と対策は</li> <li>(2) 耕作面積・生産額の今後の推計は</li> <li>(3) 県内で産地が複数あるが、本市の位置付けは（品目ごと）</li> <li>(4) 温暖化により農産物の生産地が変化していると思われるが、新品目の採用は考えられないか。</li> </ul> <p>4 旧鹿児島県農業開発総合センター果樹部北薩分場跡地利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 使用しない期間が長期化していたが、その間県との協議はなされたのか。</li> <li>(2) 今後の計画はどのような方向性か示せ。</li> </ul>
3	屋久弘文	<p>1 スマイルルーム（適応指導教室）の管理・運営等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 直近の市内の公立小・中学校の不登校児童生徒の現状とその定義について</li> <li>(2) スマイルルームは何の法令等に基づき設置しているのか。</li> <li>(3) 市教育委員会が期待しているスマイルルームの在り方・あるべき姿について</li> <li>(4) 現在のスマイルルームの設置場所・設置時期について</li> <li>(5) スマイルルームに係る教職員や保護者等への周知方法について</li> <li>(6) 最新のスマイルルームへの通室登録者数と日平均の通室者数について</li> <li>(7) スマイルルームは、なぜ4月の1箇月間開室しないのか。</li> <li>(8) スマイルルームに配置している指導員数、その身分・報酬・勤務条件等の処遇について</li> <li>(9) スマイルルームへの責任者の配置について</li> <li>(10) スマイルルーム指導員に係る研修の実施状況について</li> <li>(11) 市教育委員会・学校・心の教室相談員・SSW・SCと指導員との連携・スマイルルームへの関わりについて</li> <li>(12) スマイルルームの施設・設備等の現状、運営に係る経費の予算措置状況について</li> <li>(13) スマイルルームの移転先について</li> </ul> <p>2 「大小路地区かわまちづくり計画」における施設の管理等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設の全体像について（計画面積・完成時期・施設の整備計画等）</li> <li>(2) 施設の管理等について（地元協議に係る当初の段階と現状との比較）</li> <li>(3) 施設完成後の利活用策、地区の活性化策の検討について</li> </ul> <p>3 市総合運動公園入口の信号機設置について</p>

4	中島由美子	<p>1 新型コロナウイルスワクチンの接種について</p> <p>(1) 医師会との連絡調整は</p> <p>(2) 接種券配布の時期は</p> <p>(3) 配慮の必要な方への通知は</p> <p>2 産後ケアの充実のために</p> <p>(1) 助産師会との令和デザイントークから得たことと今回の拡充点は</p> <p>(2) 男性の育休について、女性の出産直後約4週間取得を勧めないか。</p> <p>3 小学校定数35人学級実現に向けて</p> <p>(1) 本市の予定増加学級数及び教室の確保は</p> <p>(2) スクール・サポート・スタッフは足りているか。</p> <p>4 図書館利用者のために</p> <p>(1) 本の除菌の現状及び図書消毒機の導入はできないか。</p> <p>(2) SSプラザせんだいの学習室の広報を</p> <p>(3) 読書記録帳の導入はできないか。</p>
---	-------	--